



第49号

発行
 福井県真宗高田派護法団
 福井市花堂南2-10-35
 真宗高田派福井別院内

**親鸞聖人ご直筆多数
 法義、お人柄ふつふつと**

さいほうしなんしよう

●**西方指南抄 親鸞筆(国宝)**
 聖人が八十歳代半ば、師匠

である法然上人のお説法を聞いた人のノートや、法然上人

それを受け継いだ高田歴代上人が大切に護持し今日に至っています。

さんじょうわさん

●**三帖和讃 親鸞筆(国宝)**
 「浄土和讃」「浄土高僧和讃」

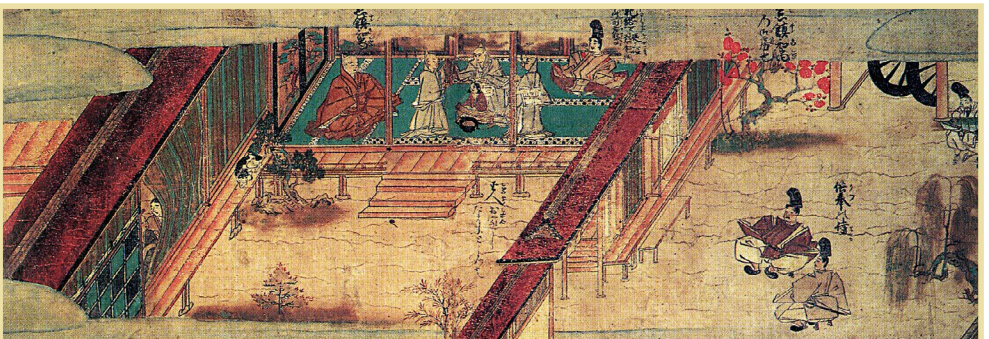
「正像末来大悲ノ恩徳ハ」(恩徳讃)も

でまとめあげた労作であるとともに、お人柄がにじみ出た名蹟といえます。

●**親鸞聖人伝絵(重要文化財)**

しんらんしようにんでんね

聖人のご生涯を描いた絵巻物です。聖人滅後の永仁三年(二一九五)、本願寺覚如上人によって製作。原本は南北朝動乱で焼失しましたが、草稿が関東の高田派門徒に送られ、専修寺に伝わりました。聖人の出家から入滅、廟堂創立までが十三の場面で描かれています。



親鸞聖人伝絵 (重要文化財)

高田山の宝物

高田本山専修寺には、親鸞聖人のご直筆など国宝、重要文化財が多数納められています。私たちが日々お祈りする正信偈やご和讃のほか、生涯を描いた聖人伝絵などには、聖人の法義や人柄が込められているとされます。代表的な宝物をひも解き、あらためて聖人のみ教えに思いをよせてみましょう。

法和 登場します。

讃の ころした和讃は、いつでも、どこでも、だれでも称えられ、なり、日本の言葉で仏菩薩や高僧の

●**顕浄土真実教行証文類「高田本」(重要文化財)**

けんじょうしんじつ

一般的には「教行信証」と言われ、聖人の思想が体系的に記述され真宗の根本聖典とされています。

●**専修寺文書(重要文化財)**

せんじゆじもんじよ

鎌倉時代から江戸時代にかけて専修寺に伝来した寺院文書です。幕府、朝廷、延暦寺との往復文書など、教団の確立過程を示すものが多数あります。福井県関係では朝倉義景関係の書状や、室町時代に高田寺院から発信された文書などが含まれています。

●**重要文化財本山御影堂と宝物館**

本山専修寺が誇る親鸞聖人真蹟の数々を収蔵する宝物館。展覧室と収蔵室の二棟があり、特に収蔵室は厳重な防湿構造です。

ご臨終の模様やお手紙などを集めた書物です。上・中・下の三巻(六冊)にわたって実に八百九十一頁で構成。すべて聖人の筆跡であることから国宝に指定されました。

徳を讃えた仏教讃歌です。聖人の自筆か、直弟・真仏上人(高田派第二世)が書写したものに聖人が加筆されたもので、最高の権威を持つとされています。

浄土和讃は阿弥陀仏を讃えた「弥陀成仏ノコノ

の中の「行文類」の最後に記された「大無量寿経」の教えと、それを伝えた七高僧の教えを内容とした百二十句が「正信偈」であり、広く親しまれています。

「記事内参考文献」
 「高田本山の法義と歴史(同朋舎)」
 「高田山の名宝」(平松令三著、高田本山ホームページ)

寺院莊嚴仏具 内陣漆箔工事 仏具修復
 全物仏具お磨き不要加工 内陣用椅子



福井店:福井市米松2丁目21-30/TEL.0776-53-3030
 武生店:越前市家久町28-3-1/TEL.0778-23-6600

http://kissyodo.jp/



福井心壇工房 越前心壇工房
 大本山永平寺御用達
 全日本宗教用具共同組合員
 (一社)福井県物産協会会員
 仏壇公正取引協議会会員

お仏檀のきづな堂
 フリーダイヤル:0120-07-1723
 福井本店 福井市大願寺 2丁目9-7

- ◆春江店(坂井市) ◆種池店(福井市)
- ◆北海道営業所 ◆大阪出張所 ◆寺院事業部 ◆岐津建設
- ◆墓石販売部 ◆念珠製造販売部 Juzu Division ◆外販事業部
- ◆掛軸・仏画販売修復部 ◆すす洗い・完全修復・クリーンサービス部

まこと
感謝の礼拝 誠実の心



仏壇おせんたく・念珠・経本・お線香
 株式会社 **林大佛堂**
 福井市春山2丁目6-13 (東別院前)

TEL0776-23-0711

真宗高田派専修寺福井別院 輪番就任挨拶

福井別院輪番 二組 仙福寺 佐々木 真修

「高田つてなに？」

これは今から二十四年前、私が初めて全国高田派青年の集いに参加した時の大会テーマでした。高田派の寺族が改めて「高田」をキーワードに「高田派」を見つめ直そうという意欲的な大会でしたが、そこで印象的な話に出会いました。三重県から参加していた寺族の方から「お参りに行った先で時々、高田派つてお西（本願寺派）ですか？お東（大谷派）ですか？つて聞かれて閉口するんですよ」と。その時は、まさかご本山のお膝元でそんな馬鹿な、との思いでした。しかし、ここ数年私も似たような質問を何度か受けることがあり、いよいよ福井でも他人事ではないぞ、との思いを強くしている次第です。

私たちは高田派が真宗で最も永い歴史をもつ宗派であり、親鸞聖人、そして法然上人をはじめとする七祖方、お釈迦様、阿彌陀様との法脈を間違いない受けついでいるということですから。そうした「高田」との縁に付き、頷き、そして共に喜ばせていただく場として、真宗高田派専修寺福井別院の活動を考えさせていただきます。任期二年ではございますがよろしくお願い致します。

この度、輪番と合わせて副輪番（願生寺）、事務局長（大願寺）が新たに就任致しました。輪番共々よろしくお願ひ致します。

護法団理事役員名と担当業務

(平成二十九年五月、平成三十年五月)

一組

(副団長) 寶林寺 南條 圓然

(理事) 本流院 秦 顕乗

(研委員長) 勝光寺 佐々木 俊英

(監事) 顕正寺 有馬 善明

二組

(団長) 法光寺 佐々木 實弘

(庶務会計) 真浄寺 日下 康正

(理事) 勝林寺 武田 純真

(壇委員長) 正行寺 佐々木 賢夫

(監事) 教林寺 三浦 世雄

※二組は旧二組と旧三組が合併したものです。

特集 シリーズ福井の寺々 VI

越前高田派 寺院探訪 第六回 佛原山西光寺

都に一人の白拍子がいた。深く仏道に精進していたので、人呼んで「仏御前」と言われた。その妙技は平清盛の心を動かす、一躍有名となった。その後生まれ故郷の加賀国原村に戻り、庵を建立し清盛から拝領した「弘法大師作の阿彌陀如来像」と「沓履の阿彌陀如来像」を拝みながら往生した。

した。原は一名仏原とも言ったところから仏原(きさらぎ)を性とした。佛原山の山号はここが由来である。承元元(1207)年仲夏、親鸞聖人越後へお下りの時、聖

り天皇陛下のご休憩を賜った。昭和二十三年(1948)年六月福井大地震によって本堂、書院及び庫裏の一部が倒壊したが、明治天皇ご通過山門は倒壊をまぬがれ当時の面影を残している。平成二十三年(2011)年本堂再建、平成二十四(2012)年書院及び檀信徒会館を再建しました。



▲平成 23(2011)年 本堂再建



▲徳川慶喜直筆の山号

開基智圓律師は諸国を回って修行の途中、原村の庵で一夜を明かした。村人は智圓の偉大さを感じ、建仁三(1203)年加賀国能美群原村に一字を建立し、法相宗佛原山西光寺と称



▲弘法大師作 阿彌陀如来立像



▲開山当時の阿彌陀如来座像

明かした。村人は智圓の偉大さを感じ、建仁三(1203)年現在の地に移った。



▲明治天皇北陸巡幸御小休所碑

天正十三(1585)年正親町天皇より綸旨を賜り、豊臣秀吉からは朱印状を下附され寺領を拝領した。明治十一年(1878)年十月明治天皇北陸ご巡幸の際、ご小休所とな

Map showing the location of Hironishikōji temple in Awarai, Fukui. Includes QR code and contact information: 〒919-0741 福井県あわらい 中川17-11 / 電話:0776-74-1838

Advertisement for 'Kajiso' (かじそ) featuring a cartoon character and contact info: 0120-54-1932, http://www.kajiso.co.jp/

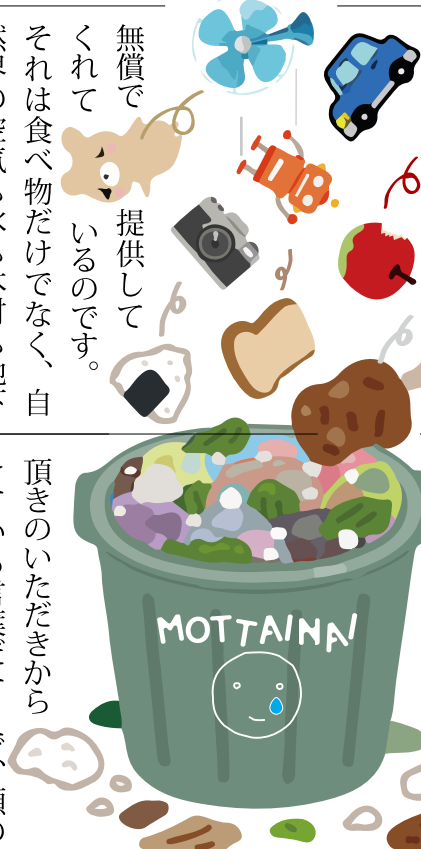
Advertisement for 'Kotai' (小太夫) featuring a stylized face and contact info: 0120-22-0986, 福井市順化2-15-9

Advertisement for 'Kitayama' (北山法衣仏具株式会社) featuring contact info: 0120-52-1844, http://www.kitayama.cc

ひとくち法話 「勿体ない心」

一組 常楽寺住職 伊藤泰臣

私達は子供の頃よくいわれました。物を大切にしようにと、決して粗末にしてはいけなと、特に食べ物はお米一粒でも食べ残してはいけません、それは物資の不足した時代に育った者だからなのでしょう。そのお陰で今でも好き嫌いもせず何でもいただきます。今は欲しい物は何でも手に入る豊かで有難い時代となりました。ない・ない・ない、勿体ない、水のたれ流し、物の使い捨て、食べ物の食べ残し、どうでしょう。平気づくりにいますか。日本人の一年間の食べ残しのゴミの量は、一人当たりで三二〇kgだそうで、日本全体では二、八七四万トンにもなり、東京ドームの七七倍にもなるといわれています。私達は毎日何かを食べ、何かを使って生きて



います。人間生きていくには何かを食べなくてはなりません。但し、その物にはすべてみな生命が宿っているのです。私達は物の生命をいただいで生きています。すべての物はみずからは一円の代償も受けずにその尊い生命を

腹が減ってがむしゃらに食べる食事とは明らかに違うはず。喰うというのは口で食べることであり、いただいで食べることは手で持つて食べることをいうのだそうで、この「いただく」という言葉の意味は、山の

ひとくち法話 世間虚仮・唯佛是真ほんまのふねる

二組 専福寺住職 金森 顕宏

世間はうつろで仮のものであり、ただ仏のみが真実である。これは、わが国の仏教の基礎を固められ、親鸞様が和国の教主と称えられた聖徳太子の最後のお言葉です。

真贋がはっきりしないまま今日に至っています。それ以来、心なしか中島氏に元気がないような気がするの私だけでしょうか。鑑定士の代表でもある中島氏は幼くして両親と死別し、骨董商の叔父に引き取られ、それ以来陶磁器の専門家として大成されました。叔父からはとにかく本物にふれるということ徹底に叩きこまれたそうです。本物を見る目が養われることによつて、偽物がわかるということ

聖徳太子は、摂政として政治の争いや陰謀うずまく世間に身をおかれました。太子が最終的にたどりついた心境が「唯佛是真」でありましょう。世間に埋没している限り、世間が虚仮であることはわかりません。虚仮を超えた真実の世界「佛の世界」と照らし合わせて、はじめて世間が虚仮であると実感されるのです。

も見えてきます。真実の世界にふれることで、心の本当のよりどころを得、虚仮の世界にありながら、そこで生きぬく力が与えられるのです。私達にとつて真実の世界は、阿弥陀如来様のお浄土であり、お念仏申す身にさせて頂くことによつて、往生浄土の道が開かれるのでありましょう。

はないかとの疑問があつて、

同時、それを越えていく道

世界「佛の世界」と照らし合わせて、はじめて世間が虚仮であると実感されるのです。

同時に、それを越えていく道

変化の時代、寺院の役割考えたい

護法団青年部長就任挨拶 二組 聖徳寺 土屋宗亮

平成二十九年より青年部の部長を任せました聖徳寺の土屋宗亮と申します。

昨今の社会を取り巻く環境の変化は著しく、それに合わせて人々の意識や価値観も多様化してきています。特に日本では宗教を取り巻く状況は大変厳しく、「宗教(お寺)離れ」という言葉も聞こえてきます。若い人たちの間ではお葬式の時ぐらしかお寺に行く機会がないという人も多く、日々の生活の中で真宗のみ教えに触れることもほとんどないとお聞きします。

青年部としましては、まず真宗高田派の僧侶として部員一同が研鑽を積むことに取り組んでいきたいと思ひます。現状を維持していくだけでなく変化著しいこの時代におけるお寺の果たすべき役割などについても話し合いつていきたいと考えています。さらに、ご門徒の皆さまとの関わり合いにおいても、ただ待つてい

ただ待つてい

大本山永平寺御用達
和燭製造・薫香 卸
大黒屋本舗
〒918-8001 福井市つくも1丁目5の22
TEL(0776)36-3747(代)
FAX(0776)36-7087

法衣・寺院用仏具・念珠・稚児貸衣装
仏教用品総合製作
ヒサノ法衣仏具
〒910-0019 福井市春山2丁目8-26
TEL:0776-21-3515 FAX:0776-21-3559
E-mail:hisano@ruby.ocn.ne.jp

株式会社
サワザキ佛壇店
〒910-0373 福井県坂井市丸岡町高柳2-16
TEL: 0776-66-6560
FAX: 0776-67-1050

高田派護法団 夏季研修会開かれる



七月二十八日、高田派福井別院で開かれ暑い中で約三十人が参加しました。

午前の部では本山教学院第二部会研究員で布教使の田中明誠氏(三重県鈴鹿市、欣念寺住職)が「真宗の葬儀のあり方」と題し講演。葬儀が著しく変容しているなかで、本来のあり方や意味について歴史をふまえながら説明。住職たちは熱心に耳を傾けていました。

午後の部は、華道池坊の先生磯山秀子さん(福井市法専寺坊守)が「仏華の立て方」その一例」と題し、花材を効果的に使ったお荘厳の実践例を紹介。住職に加え坊守さん方数人も聴講し、「今後に生かしたい」などと話していました。



ご要望の多かった中型の納骨壇36基を新たに増設いたしました。



納骨は福井別院で。

納骨に三重の本山までちよつと遠いなあ〜
...とお思いの方に福井別院で本山同様の「納骨」と「お参り」が出来るようになりました。

納骨堂左右の各位牌壇中央に片方十八基計三十六基の新設納骨壇です。豪華な装飾を施したスチール製の右開仕様です。ご遺骨と各位牌をゆつたりお納めいただけます。

別院納骨には次の四通りの方法がございます。

納骨壇設置
扉の付いた個別区画へ納骨していただきます。

各位牌安置
ご遺骨は納骨口より合葬し別院仕様の各位牌に表面(○)家先祖代々裏面には「法名」をお彫りして安置します。

位牌安置
右同様の仕様に安置します。

一般納骨のみ
ご遺骨は納骨口より合葬させていただきます。

納骨・位牌堂冥加金
ご要望の多かった納骨壇
新設 三十六基を新たに増設

中型納骨壇 二十五万円

大型納骨壇 五十万円

位牌壇 四万円

位牌安置のみ 二万五千円

一般納骨のみ 二万円

位牌壇全308基
お位牌を余裕を持って安置していただけます。ご遺骨は合葬納骨口よりご納骨いたします。お位牌には「○家先祖代々」と表記いたします。「○家」により裏面には法名をお彫りします。
●奥行117×高さ330×幅180(㎝)
●奥行117×高さ330×幅180(㎝)

位牌壇全308基
位牌裏面には四法名まで記入出来ます。●一法名彫料は別途三千元を申受けます。

合葬納骨口
本尊阿彌陀如来像下の引戸内に「南無阿彌陀仏」の号と「倶舎一処」の合葬納骨口の号と「倶舎一処」の合葬納骨口より有縁の方々を一同に安置・恭敬させていただきます。

納骨・位牌堂のパンフレットを
ご希望のお檀家に差し上げます。
お電話で福井別院までお申込みください。郵送にてお届けいたします。

納骨に関する受け付け業務は
午前9時から午後4時迄です。

ご門徒の皆様へ

福井別院 「護持費」 納入のお願い

福井別院は、県下高田派寺院・檀信徒の皆様によって護持運営されております。お手紙のお寄せ同様、福井別院へも懇意をお寄せいただきたく、納入をお願いいたしております。

福井別院護持費

五〇〇円

(檀家・年間)

「護持費」納入方法

- 一、地区お世話方に納入 (お世話方はお手紙お寺様へ納入)
- 一、直接、お手紙お寺様へ納入 (お寺様に集まった「護持費」は一括して別院へ納入していただいております。これまで未納の檀信徒の皆様にもぜひ「護持費」納入をお願い申し上げます。

平成二十九年真宗高田派 福井県内

末寺報恩講

月・寺院名・組別・住所・会期の順に掲載。お近くの高田末寺へもぜひ、お参りください。

6月 慈照寺 ② 福井市尼ヶ谷第4日曜日

9月 勝鬘寺 ② 福井市風尾 5~6日
浄善寺 ② 福井市鹿俣第3日曜日
鳳生寺 ① 三国町覚善
信行寺 ① 三国町山王
稱名寺 ② 三国町黒目 28
顯正寺 ① あわら市北潟 29
西方寺 ② 福井市縫原 29

10月 西光寺 ① あわら市中川 1
榮照寺 ② 大野市牛ヶ原 2
松樹院 ① 三国町嵩 5
真浄寺 ② 大野市庄林 6
安養院 ① あわら市二面 7
勝願寺 ① あわら市北潟 8
法光寺 ② 福井市折立 10
勝久寺 ② 三国町山岸 11
圓光寺 ① 三国町梶 12
稱名寺支院 ② 福井市御幸 13

11月 本流院 ① 三国町加戸 1
大願寺 ② 三国町米納津 2
勝光寺 ① 坂井町上兵庫 3
正行寺 ② 福井市西天田 3
願教寺 ① あわら市北潟 3
仙福寺 ② 福井市足羽 4
寶幢寺 ② 福井市南菅生 5
珠光寺 ② 福井市南菅生 7
專福寺 ② 大野市友兼 8
寶林寺 ① 三国町神明 9
願教寺 ① 三国町浜地 9
西生寺 ② 福井市折立 10
常樂寺 ② 福井市加戸 10
勝林寺 ① 福井市小幡 12
高田別院 ② 福井市花堂南 15

願生寺 ② 福井市鮎川 13
要願寺 ① あわら市北潟 16
光徳寺 ② 越前町三崎 17
聖徳寺 ② 福井市味見河内 17
法性寺 ② 福井市小丹生 18
法圓寺 ① 三国町北本町 21
遠成寺 ① 三国町南本町 21
稱名寺 ② 福井市折立 25
教林寺 ② 三国町新保 28

14 12 8 3 1
15 13 12 10 9 7 5 4 3 2 1
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

真宗高田派専修寺

福井別院



〒918-8015 福井県福井市花堂南2丁目10-35 電話:0776-35-2299/FAX:0776-35-2291
Mail:fukuitakadabetsuin@orange.plala.or.jp

福井別院 年間法要
1月:御正忌/3月:春季彼岸会/5月:宗祖聖人降誕会/7月:永代経
9月:納骨位牌堂法会・秋季彼岸会/11月:報恩講